



NTT Communications Corporation CSR Report 2018

事業ビジョン・CSR基本方針

トップコミットメント

CONTENTS



事業とサステナビリティ

社会に広がる私たちの事業
私たちの目指す社会
マテリアリティの特定と改善
役員コミットメント



社会への貢献



地球環境への貢献



人材の尊重



経営統治の継続的強化

CSR活動の成果

コーポレートデータ

事業とサステナビリティ

社会に広がる私たちの事業

海底ケーブル、データセンター、IPバックボーンをはじめ、世界トップクラスの通信インフラがグローバルクラウドを支えています。「日本品質」のICTソリューションで、グローバル企業に世界最先端のサービスを提供し、全世界のお客さまから選ばれるパートナーを目指します。

Global Tier 1* Provider

世界有数のプロバイダーとして世界最高水準のインフラを目指しています。

* Tier 1 (ティアワン)：インターネットの品質を上流のプロバイダーに頼らずに、自らコントロールできる世界規模の広帯域IPバックボーンを保有するISP (Internet Service Provider) グループのこと。



グループ従業員

22,050人

高速通信
グローバルネットワーク

日米間

2 Tbps

アジア・オセアニア間

5 Tbps

世界最大級のアジア-北米間1.690Gbps、アジア-オセアニア間2.627Gbpsの広帯域を誇る高速・大容量で、アジア・オセアニア・北米・欧州の主要サービスプロバイダーとダイレクトに接続。シングルAS (自律システム) ネットワークとSLA (サービス品質保証制度) により、快適な通信環境と安定した運用を維持しています。(2017年9月末現在)

グローバル
ネットワークサービス

190+ Countries/
Regions

世界190以上の国/地域をカバーするグローバルネットワークサービスを提供します。(2018年3月末現在)

世界トップレベルの品質を誇る
データセンターサービス

20+ Countries/
Regions 400,000m²+
Server Room Space

グローバルサービスブランド「Nexcenter™」のもと、世界中の拠点で統一された300以上の設備・運用基準により高品質なサービスを提供しています。自社によるデータセンターの構築だけでなく、世界各国のデータセンター事業者の株式を取得したり、現地事業者とパートナーシップ契約を交わすことで、急速にサービスを拡大中です。今後も、アメリカ・ヨーロッパ・アジアを中心に拡大を進め、世界20以上の国/地域および40万m²以上の展開を目指します。

ビジネス向け
ICTトータルソリューション

40+ Countries/
Regions 110+ Locations

NTTコミュニケーションズは40以上の国/地域、110カ所以上のロケーションに拠点を構え、各国のICT環境に精通したスタッフを配しています。(2018年3月末現在)

個人向けサービス

7,521千人
OCN会員

20年の歴史を持つ、国内最大規模のインターネット接続サービスを提供し、社会のICT化を推進します。(2018年3月末現在)

クラウドサービス

Asia Pacific “Leader”

通信キャリアならではの高い技術力、豊富なノウハウを活かし、グローバルなクラウドサービスをワンストップで実現します。(米ガートナー社のアジア太平洋地域におけるクラウド事業者評価レポートにおいて、3年連続で「リーダー」の評価をいただいています。)

NTT Communications Corporation CSR Report 2018

事業ビジョン・CSR基本方針

トップコミットメント

CONTENTS



事業とサステナビリティ

社会に広がる私たちの事業
私たちの目指す社会
マテリアリティの特定と改善
役員コミットメント



社会への貢献



地球環境への貢献



人材の尊重



経営統治の継続的強化

CSR活動の成果

コーポレートデータ

私たちの目指す社会

ICTを通じて社会課題の解決を目指すNTTコミュニケーションズグループにとって、グローバル社会に潜む多様なリスクを把握し、その回避や軽減に努めることは、事業活動を展開していくうえで必要不可欠なことです。

世界中のさまざまなステークホルダーに支えられたICT企業の責任としてグローバルリスクに備える一方、これを機会と捉えて4つの重点項目に注力していくことで、私たちが目指す社会を実現していきます。



参照資料：世界経済フォーラム「グローバルリスク報告書2018」

NTTグループの一員としてSDGsに賛同

2016年度、NTTグループは国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同を表明しました。これを受け、私たちも2016年度よりNTTグループの一員としてSDGsに貢献する取り組みを推進しています。

現在、CSR研修やCSR活動を通じてSDGsの理解を社内全体で深めるとともに、CSR重点活動項目とSDGsの各目標を紐づけ、指標の有効性を確認、評価しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標





NTT Communications Corporation CSR Report 2018

事業ビジョン・CSR基本方針

トップコミットメント

CONTENTS



事業とサステナビリティ

社会に広がる私たちの事業
私たちの目指す社会
マテリアリティの特定と改善
役員コミットメント



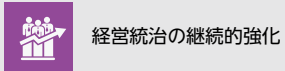
社会への貢献



地球環境への貢献



人材の尊重



経営統治の継続的強化

CSR活動の成果

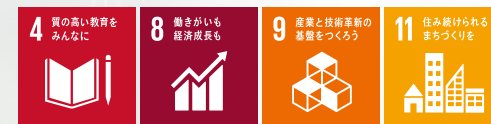
コーポレートデータ

マテリアリティの特定と改善

経済・社会情勢が変化する中、私たちはCSR基本方針を踏まえた重点領域と活動項目を、外部有識者も交え定期的に検証・刷新し、社会の期待に応えるCSR活動に取り組んでいます。2017年度は、重点領域ごとに関連するSDGsを踏まえ、各目標の実現に貢献しうる事例を特定すると同時に、各重点活動項目ごとにPDCAを推進しています。

社会への貢献 ▶ p.10

関連するSDGs



重点活動項目

- ネットワーク社会を支えるイノベーション
- 重要インフラとしての高い安定性と信頼性の確保
- 顧客のネットワークセキュリティの強靱化
- 顧客満足の継続的改善
- サプライヤーとの協働
- 地域貢献・コミュニティ開発

人材の尊重 ▶ p.14

関連するSDGs



重点活動項目

- 人材の育成
- 多様性の尊重と機会均等
- 社員の健康維持・増進

地球環境への貢献 ▶ p.12

関連するSDGs



重点活動項目

- 社会が低炭素化している未来
- 資源が循環している未来
- 自然と共生している未来

経営統治の継続的強化 ▶ p.16

関連するSDGs



重点活動項目

- コンプライアンスの徹底
- 人権の尊重
- リスク管理
- 情報セキュリティの確保



NTT Communications Corporation CSR Report 2018

事業ビジョン・CSR基本方針

トップコミットメント

CONTENTS



事業とサステナビリティ

社会に広がる私たちの事業
私たちの目指す社会
マテリアリティの特定と改善
役員コミットメント



社会への貢献



地球環境への貢献



人材の尊重



経営統治の継続的強化

CSR活動の成果

コーポレートデータ

役員コミットメント

経営基盤の継続的強化

重要インフラを担うICT企業として 経営基盤を構築

NTTコミュニケーションズグループはグローバルなICTリーディングカンパニーとして、あるいは社会の重要インフラを担う企業として、コンプライアンスや人権の尊重、リスク管理、そして情報セキュリティの分野で、確実に信頼に応えられる経営基盤を構築すべきであると考えています。

私たちは法令・社会的規範・社内規則の遵守など企業倫理を実践するうえで模範的な企業を目指します。また世界規模での人権尊重に対する意識の高まりの中、国内外の全グループ横断での人権尊重や侵害加担の撲滅に向けて取り組みを進めていきます。

ビジネスリスクやパンデミック、気候変動による天災などの自然災害にも迅速に対応できる強固なガバナンス体制の整備も不可欠です。さらに近年、情報セキュリティに関連する犯罪が多発している社会的事実とも真摯に向き合い、セキュリティマネジメントの強化とセキュリティ人材の育成に努め続けます。

私たちが構築すべき経営基盤とは、いわば社会を支える基盤であり、その責任は重大であると理解しています。私たちは、これからも社会に不可欠な企業としての責任を果たし続け、SDGsの達成に向けて不断の努力を重ねていきます。

代表取締役副社長
丸岡 亨

関連する
SDGs


地球環境への貢献

ICTで地球環境と調和した 未来を次世代に

NTTコミュニケーションズグループは、国連加盟国が合意した地球規模の優先課題であるSDGsに賛同しており、ICT企業による地球環境保護活動にかかる期待は大きいものと理解しています。私たちは、地球環境の保護に向けて自社グループの低炭素化と提供する製品・サービスの低炭素化を両輪ととらえる中で、あるべき未来に向けたビジョンとして「環境宣言」「環境目標2030」を設定し、独自の環境マネジメント体制にもとづく多面的な活動を重ねています。

例えば、データセンター・通信ビルにおいては、旧型設備の刷新に加え、ICTによって温度や電気を「見える化」することで、ビル全体の空調効率の改善に取り組んでいます。また、事業活動に関わるすべての資源について「3R(使用量の削減:リデュース、再利用:リユース、再資源化:リサイクル)」を徹底しています。自社の取り組みを通じて培ったノウハウは、外部に向けても発信し、社会全体での低炭素化にも貢献していく所存です。

これからも私たちは、豊かな地球に貢献するグリーンなICT企業として、限りある資源を次世代に継承していきます。

代表取締役副社長
森林 正彰

関連する
SDGs


人材の尊重

多様な人材が活躍できる職場を 実現するために

多様化し続けるお客さまのニーズに対応するには、さまざまなバックグラウンドや個性を持ったメンバーが互いを尊重し、それぞれの価値観をぶつけ合うことでもたらされるシナジーを生み出す場を創ることが重要です。NTTコミュニケーションズグループは、多様性を活かす社会の実現には企業の積極的な行動が必要と考え、グローバル化が加速する事業も見据えた人材育成施策として、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)戦略を展開してきました。

私たちは少子高齢化を背景に、女性活躍推進に向けた多面的な制度の構築やより多様な働き方を可能にする職場環境の整備を進める一方、人種や国籍、経歴、年齢などを問わない人材活用を推進し、一人ひとりが高いモチベーションを維持できる職場づくりを目指してきました。これは国連サミットで採択されたSDGsに寄与する活動であると考えています。また、働きがいのある人間らしい仕事を続けるにはワーク・ライフ・バランスの尊重が必須と考え、働き方改革も加速していきます。

私たちは、すべての人が認め合い、高めあうことで人材の能力が十二分に発揮できる組織として、より豊かな社会づくりに貢献していきます。

常務取締役
桜井 伝治

関連する
SDGs


NTT Communications Corporation CSR Report 2018

事業ビジョン・CSR基本方針

トップコミットメント

CONTENTS



事業とサステナビリティ

社会に広がる私たちの事業
私たちの目指す社会
マテリアリティの特定と改善
役員コミットメント



社会への貢献



地球環境への貢献



人材の尊重



経営統治の継続的強化

CSR活動の成果

コーポレートデータ

社会への貢献

イノベーションの力で サステナブルな社会に貢献

ICTを通じたイノベーションは、日常やビジネスを一変させる可能性を常に秘めています。一方でICTが社会インフラとしての重要性や存在感を増すにつれ、その高い安定性と信頼性の確保も新たなイノベーションを生み出す以上に重要な取り組みとなっています。

NTTコミュニケーションズグループは、ICT基盤設備の強化やクラウド技術を活用したグローバルなサービスの展開と、さまざまな社会課題の解決に資するサービスの開発の両面で、グローバルな期待に応えていきます。私たちが目指すのは、ICTによって時間や距離、言語の制約がなく、常に安全で快適なネットワークが保たれた、すべての人がつながる社会です。現代のインフラとして欠かせない存在であるICTネットワークの遮断は、グローバルな経済活動に計り知れないリスクを及ぼします。ICT技術を利用できる者とできない者との間に生じる情報格差、いわゆるデジタルデバイドの解消も重要な社会課題の一つとなります。

私たちは、2030年までの国際的な目標であるSDGsの達成はもとより、ICTを通じたイノベーションでより良い未来に資する活動を重ねることで、その先のサステナブルな社会の創出に貢献していきたいと考えています。

取締役
カスタマーサービス部長 高岡 宏昌


関連する
SDGs


サステナブルな社会の実現に向け、 グループ丸で挑戦



常務取締役
田中 栄一



より良い未来に向け、全世界が挑む共通の目標である国連のSDGsに対する社会の関心は、国や組織を超え、日に日に高まりを見せています。

NTTコミュニケーションズグループのCSR基本方針は「社会」「環境」「人材」と、それらの基盤となる「経営統治」を加えた4つの重点領域で構成されていますが、各領域でSDGsと関連付けた試みを行っており、既に成果が結実しつつあるものもあります。具体的には、労働人口減少と加速する気候変動という社会課題に対してIoT、AIというICT企業ならではの先進技術を用いたソリューションの開発による人的リソースの確保や低炭素化を徹底したデータセンターの世界展開が挙げられます。

SDGsは、企業のCSR活動に大きな意義を持ちます。自社の個性・特徴を活かしたCSRの実践は重要ですが、それ自体が目的化しては意味がありません。世界で普遍的な課題や問題意識を念頭に置きつつ、ICTを通じたグローバル規模の社会的課題解決や価値創造に取り組んだ結果が、グローバルな視点でのCSR活動を作り上げます。

私たちは、この活動や価値観を全グループ会社で共有し、グループ全社員一人ひとりの責任ある自発的な行動とすることが、安心で快適・豊かな社会の実現につながると考えます。NTTコミュニケーションズグループは、現在と未来を「つなぐ」パートナーとして、社会をサステナブルで、よりよいものとするための挑戦を、グループ丸で続けていきます。